

(別添 4)

第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント

(令和 5 年 10 月 12 日記載)

事業運営における問題点を把握しサービスの質の向上を促進することを目的に、初めて第三者評価を受審しました。自己評価では事業全体について、または職員一人ひとりの支援について振り返る機会となり、支援者として求められることを再確認できました。また、利用者アンケートにより個別支援計画やサービスについて分かりやすい説明が十分に行えていないこと、外部機関の相談窓口の周知不足など利用者の意見が把握できたことで、サービスの受け手の満足度向上にむけた取り組みを整理することができました。

評価では私たちが大切にしている、「子どもの個性を大切にした様々な活動の提供」を高く評価していただいたことがとても嬉しく、職員のモチベーション向上にもなりました。また、改善点においては指摘だけではなく、具体的な手法についてのアドバイスがありとても参考になりました。私たちは学童期における療育の重要性を感じながら日々の支援を行っています。子ども達の可能性を伸ばす支援が提供できるよう、情報共有と分析に力を入れて行きたいと思います。建物環境などすぐに着手できないこともありますが、地域の資源を活用するなど工夫しながら子ども達が少しでも安心して過ごせる環境づくりに努めてまいります。

今回の第三者評価の受審により、様々な気づきがありました。その気づきを形にして行動に結びつけ、法人理念である「人権の保障と幸福を共に創る」に沿って支援を行っていきたいと思います。この度は良い機会をいただき、本当にありがとうございました。

エコール親愛

管理者氏名

藤澤 恵